

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・朝礼、フィロソフィ勉強会(毎月)、経営会議(毎月)、決起大会(3月)を実施し経営理念や行動指針の浸透と共有、経営目標の達成度合いを確認している。								8	9									17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・熊本大同青果グループフィロソフィで法令順守はもとより、「人としての正しい生き方、あるべき姿」を示し、毎日実践できているか朝礼で確認している。 ・経営方針書を毎年作り替え、交通ルール、個人情報保護等の法令遵守を明記し、全社員で共有している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・就業規則の服務規律と熊本大同青果グループフィロソフィNo7、「フェアプレイ精神を貫く」という項目で不正・不法行為をしないことを周知徹底している。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		取締役会と総務課を中心に社内体制を整備し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響への対応を強化している。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		秘密保持規定内に知的財産の取り扱いについて明記し、保護や管理をしている。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・特定個人情報取扱規定を定めて、個人情報の適正な取り扱いをしている。 ・経営方針書に個人情報保護に関する方針を記載し、ルールの周知徹底を図っている。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・お客様からのクレームは、日報のクレーム欄に適宜記載して全社員が閲覧でき、適切な対応ができるようにしている。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	技能実習生にも社員と同様に会社のイベントに参加してもらい、職種、雇用形態に関係なく、当社の一員としての一体感を醸成している。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	自然災害とインフルエンザ(新型コロナウィルス含む)流行時のBCPを策定している。									9		11		13.1			16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	対策済み、後継も決まっている。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		あらゆる雇用・就業条件で差別のない体制を従業員および経営者が共に理解し、総務課を相談窓口になっている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		定例・随時「労働安全衛生委員会」を開催、朝礼やグループウェア等を活用し労働安全衛生について周知徹底している。			3					8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		パートタイマーにも通勤手当を支給するなど、関係法令等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備対応を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・週休3日制の導入や、週次・月次で勤務時間を管理し長時間勤務の予防に取り組んでいる。 ・連続長期休暇制度で有給休暇の消化を促進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		職務・役割に応じた資格取得や通信教育の受講などの研修制度を設けている。(新入社員:ビジネスマナー研修、フォークリフト運手技能講習管理者:コミュニケーション能力向上研修、5S通信教育)				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・禁煙の推進、ダイエットの推進。社内にフィットネスジム、シャワールームを完備している。 ・2024年健康経営優良法人(中小規模法人部門)認定を受けている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		女性はもちろんのこと、外国人技能実習生15名、障がい者4名、65歳以上の高齢者も多数勤務している。障がい者の法定雇用率は、クリアしている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウィルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	時差出勤、ウェブ会議実施中、週休3日制を導入している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・全国でも珍しい競りのタブレット端末入力を導入している。 ・日報のアプリ化、iPadの導入によりペーパーレス会議等の業務効率化を図っている。 ・届出ワークフロー、年末調整のペーパーレス、給与明細のweb配信などを実施している。								8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●	・プライト企業の認定を受けている。(認定番号22118) ・令和元年にプライト企業賞を受賞している。			3	4				8	9			12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		社内で発生する廃棄物は、熊本市分別基準に準じて分別して廃棄している。毎朝、朝礼で間違った捨て方をしてあるものを発表し、分別が徹底されるよう推進している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電気料金、水道料金、燃料費、コピーのカウンタ料金等は、毎月部署ごとに集計し前年比等で管理して削減に取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		電気料金、燃料費は、毎月部署ごとに集計し前年比等で管理して削減に取り組むことで、CO2削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		自社ブランドの特別栽培農産物「とっぺん野菜」も取り扱うことで、環境や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		プラスチック、ペットボトル、紙類はリサイクルに回している。また、来客の際のコーヒーカップをプラから、間伐材を使用した素材のカップに変更して、プラスチックごみの発生を抑制している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・老朽化している水道管は、補修し漏水を防止している。 ・工場では、井戸水を利用している。 ・トイレを回収する際は、節水タイプを取り付けて、節水を推進している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		来客の際のコーヒーカップをプラから、間伐材を使用した素材のカップに変更して、プラスチックごみの発生を抑制している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	関連会社(HOSHIKO Links、熊本大同フーズ)で青果物の加工事業(乾燥、冷凍)を行い、規格外野菜の商品化等でフードロス削減にも貢献している。	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	自社所有建屋の屋根に太陽光発電システムを設置している。(八代、山鹿、菊池)							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・5S活動(整理、整頓、清潔、清掃、躰)を取り組み、毎月点検を実施し環境整備をしている。 ・定期的に、出荷物の残留農薬検査を実施し安全性をチェックしている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・水道の蛇口を一部、レバータイプとセンサータイプにしている。 ・自社管理ビルの入り口にスロープを設置している。									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	県内産青果物の取扱い 野菜72%、果実57%となっている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	関連会社(HOSHIKO Links、熊本大同フーズ)で青果物の加工事業(乾燥、冷凍)を行い、規格外野菜を活用したフードロス削減にも貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	21年3月から稼働した、関連会社(熊本大同フーズ)の冷凍野菜事業は、国、県、JA、県立大学の協力のもと、6次産業化をはかり、持続可能な食糧生産システムを確保し、強靱な農業を実践している。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・子ども食堂への寄付をしている。 ・企業主導型保育事業で地域枠を設けて、地域の待機児童の解消に貢献している。 ・市場見学、ナイストライの受け入れで、子どもたちの職業体験に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		地震、豪雨、感染症流行時のBCPを作成し、防災対策を実施している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・毎年、防火管理者が講習を受講し、防火・救助の知識と技能を身につけている。 ・年2回の防災訓練・教育の実施している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	売場にSDGsのカンバンを掲示し、SDGsの普及啓発に貢献している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	小学生の社会科見学、中学生のナイストライ、高校生から大学生までのインターンシップは、申し込みがあればすべて受け入れ、職業の学びの場を提供している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・経営者協会のキャリア支援研究会の講師へ登録し、大学等で講演し県内企業の魅力を伝えている。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・保育園児に畑づくりを体験してもらい、農業に触れる機会を作っている。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17